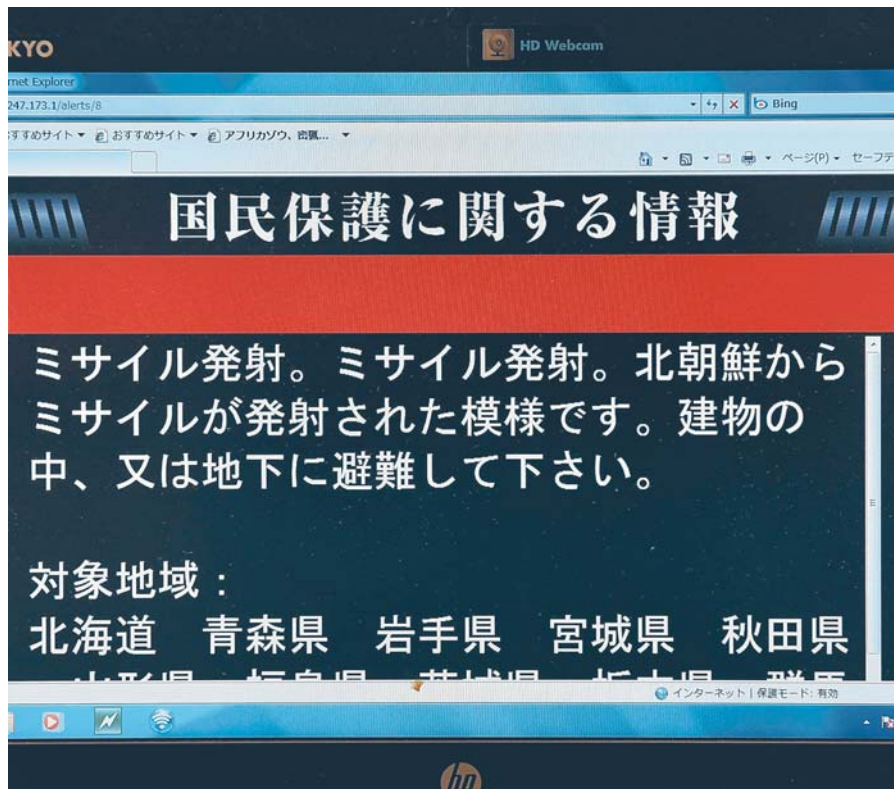


ミサイル日本通過

北朝鮮発射、襟裳岬200キロ沖落下

政府によると、北朝鮮が日本時間15日午前6時57分ごろ、弾道ミサイル1発を北東方向に発射した。ミサイルは北海道上空を通過し、襟裳岬の東約2千キロの太平洋上に落下した。全国瞬時警報システム（Jアラート）が作動した。日米韓がミサイルの種類などの分析を急いでいる。国連安全保障理事会は11日、北朝鮮による6回目の核実験を受けて、新たな制裁決議を採択。北朝鮮は国際社会の圧力に対抗して核・ミサイル開発を続ける強硬姿勢を鮮明にした。



北朝鮮がミサイルを発射したことを伝えるJアラートの画面
=15日午前7時2分、東京都港区

韓国軍によると、ミサイルは首都平壤の順安地域付近から発射され、約3700キロ飛行し、最大高度は770キロ。自衛隊法に基づく破壊措置の実施はなかった。中距離弾道ミサイル「火星12」や大陸間弾道ミサイル（ICBM）「火星14」の可能性がある。

北朝鮮による弾道ミサイルは、8月29日に北海道上空を越えて火星12を太平洋に発射して以来、北朝鮮のミサイルが日本上空を通過するのは今回が6回目。

北朝鮮は9月3日にICBM搭載用の水爆実験とする核実験を実施。新たな安保理制裁決議は北朝鮮への石油供給制限に初めて踏み込み、中国やロシアも賛成。北朝鮮外務省は「全面的に排撃する」と反発していた。（共同）